

CPFA 申請のための CV 作成マニュアル

	記 載 事 項	留 意 事 項
タイトル	<ul style="list-style-type: none"> 氏名、メールアドレス、電話番号、住所 	すべて自宅のものを記入してください（重要事項）
志望動機 Personal Statement	<ul style="list-style-type: none"> 自分にできること、達成したいことなど どのような役割に関心があるか なぜ、それが自分に合っていると思うのか 	<ul style="list-style-type: none"> 箇条書きではなく、文章で数行記載すること（google 翻訳使用可。ただし、元の日本語の構文を簡潔明瞭に。主語を省かないように etc） ここには職歴に記載する職務に関するスキルは記載しないこと 専門性と目的を強調すること
職 歴 Work Experience	<ul style="list-style-type: none"> テンプレートは、複数の組織で役職が上がっていくイメージでつくられている。職場ごとに役職が変わる場合は、Job Title ごとに作成 同じ会社で、役職が上がっていく場合は、記載例のように記載 責任には、「職務の中で達成したこと」「目標達成のためのスキル」を記載（例）Developed new strategy for...（…のための新たな戦略を開発した） スキルは、職務の中で使用するものを記載（例）プログラム C++ 	<ul style="list-style-type: none"> Job Title で主任や係長に「chief」、「senior」、「head」などを使用しないこと。英国では、これらは事務総長や部長等に使用されるため、誤解が生じる可能性がある。 期間の記載（例）November 2011 – May 2012 以前の職歴も記入すること 「活動的」など曖昧な用語は避けること 申請しようとしている役割に関連づけること
学 歴 Education	<ul style="list-style-type: none"> 博士・修士・学士などの学位ごとに、成績（可能であれば、GPA を算出して記載）、学科名・研究科名、期間、大学名、所在地 大学時代の目標と達成事項 大学で学んだ業務に活かせるスキル 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事に活かすことが可能なものであれば、論文名を記載すること 職歴がない場合は、教育上の責任を広げ、実生活のシナリオに当てはめること 関学 AS の修士学位は参考例のとおり記入（重要事項）
職業会計士団体 Professional Accountancy body	<ul style="list-style-type: none"> メンバーとなっている団体 （例）CIPFA Japan 	<ul style="list-style-type: none"> 試験によるもののみで、試験免除でメンバーとなっているものは記載しないこと
個人的関心 Personal Interests	<ul style="list-style-type: none"> 自由筆記 読書や映画鑑賞、スポーツなど好印象を与える内容 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事とは関係ないが、ネットワークを築くために有用なことで、関心のあることや趣味があれば記載すること（例）ゴルフ・絵画鑑賞など
推 薦 人 References	<ul style="list-style-type: none"> 職務上や学術的な資質について、詳しく知っている人。氏名、役職名、組織名、住所、電話番号、Eメールなど 	<ul style="list-style-type: none"> CIPFA Japan President Prof. Toshihiko ISHIHARA 1-7-13 ARK Tamatani 306, Morikitamachi, Higashinada, Kobe 658-0001 Japan ishihara@cipfa.jp
全 般	イギリス英語のスペルとすること	（例）organisation, centre, behaviour analyse, licence など